# 平成 27 年度第 1 回 (第 44 回) 気象予報士試験 実技試験解答例

平成 27 年 9 月

この解答例の全部又は一部を無断で複製・転写することはできません。 一般財団法人 **気象業務支援センター** 

#### 実技1

#### 問 1

- (1)〔8点〕
  - ① 10② 60③ 西 (西南西)④ 高⑤ 厚⑥ 日本海⑦ 黄海⑧ 東シナ海(⑥ ⑦ ⑧ は順不同)

- (2)〔9点〕
  - ① 下層雲:積雲 上層雲:巻雲
  - ② 上・中層雲 が卓越

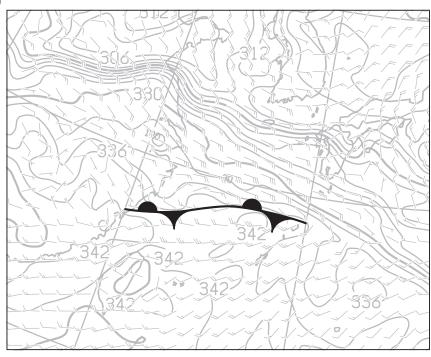
衛星画像に基づく根拠:

可視画像では灰色で暗く,赤外画像では白色で明るく写っている。(30字) 地上観測に基づく根拠:

下層雲量 2, 全雲量 7以上 8未満である。(19字)

#### 問 2

- (1)〔14点〕
  - ① 移動方向:東 中心気圧の変化:浅くなる
  - ② 北緯 37(36)。
  - ③ 中心位置:北緯 33 ° 東経 145(146) ° 渦度の極大値 36 時間後: $188 \times 10^{-6}$ /s 48 時間後: $238 \times 10^{-6}$ /s
  - ④ 寒気側から暖気側へ等温線を横切る北風が吹き、寒気移流となっている。(33字)
- (2)〔12点〕
  - ① 時間帯:ウ 最大値: <u>139</u> mm
  - (2) + 0.2 m/s
  - 3



④ 高相当温位域の北縁で、339K の等相当温位線にほぼ沿っている。(31字)

#### 問3

- (1)〔10点〕
  - ① 東
- ② 千葉県 ③ 茨城県 ④ 6
- ⑤ 積乱雲

- **6** 9
- ⑦ 大きく 8 海面水温 9 低
- ⑩ 抑えられ
- (②③は順不同)

(2)〔9点〕

降水域 A:成熟した積乱雲であり、周囲より低温で発散域となっている。(28字) 降水域 B:発達初期の積乱雲であり、周囲より高温で収束域となっている。(29字) 冷気外出流を伴う降水域:A

- (3)〔3点〕
  - **B** も低温域となり、**A** の低温域と連なった。(20字)
- (4)〔3点〕

高温域で、東風と南風が収束する場所。(18字)

- (5)〔10点〕
  - ① 気温差:41 °C 気温減率:7.3 °C/km

成層状態:条件付不安定

② 時刻:22 時

根拠:風向が西南西から西北西に変化したため。(19字)

#### 問 4

(1)〔2点〕

中心気圧がより低く、東への移動が速い。(19字)

- (2)〔14点〕
  - ① **才**
  - ② 強い降水は低気圧の進行前面に分布し、後面には降水のない領域が広がる。(34字)

3										
9)	時間帯	ア	1	ウ	エ	オ	カ			
	最 大 3時間 降水量 (mm)	10	20	20	100	100	0			

④ウ

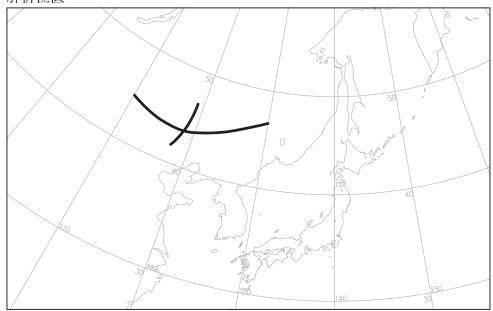
- (3)〔6点〕
  - ① 予想は実況に比べて、中心気圧が低く、東への移動が速い。(27字)
  - ② a 弱い b 東
- c 150
- d 無降水

#### 実技 2

#### 問 1

- (1)〔16点〕
  - ① 解析できるもの: イ, エ(順不同)

解析位置



- ② 低気圧はトラフの東側に位置するので、発達する可能性が高い。(29字)
- ③ 850hPa: 18 °C 500hPa: −6 °C
- (2)〔6点〕
  - ① 華南
- ② 1000 hPa
- ③ 北西へ9ノット
- ④ ほとんど停滞 ⑤ 35 ノット ⑥ 35 ノット

(3)〔4点〕

5880 m の等高度線付近の風に流されて西北西に進むため。(28 字)

(4)〔6点〕

該当する熱帯低気圧:B

理由:沖縄地方から遠ざかり、日本に影響を及ぼすおそれがなくなると予想される ため。(37字)

#### 問 2

(1)〔4点〕

渦度の極大値: $+298 \times 10^{-6}/s$ 低気圧との位置関係:ほぼ同じ位置

(2)〔6点〕

予想される移動経路:サハリン北部を通過しオホーツク海に進む。(20字) 中心気圧の変化:24 時間後に4hPa 低下した後,変化しない。(22 字)

(3)〔4点〕

北海道の南の海上まで南下する。(15字)

#### 問3

- (1)〔7点〕
  - $\bigcirc -6$   $\bigcirc 18$   $\bigcirc 18$   $\bigcirc 445$   $\bigcirc 25$   $\bigcirc 345$   $\bigcirc 330$
- (2)〔2点〕 次第に大きくなる。
- (3)〔14点〕
  - ① 18 日 9 時
  - ② 水蒸気量が最大となる日時:18日9時 理由:気温がほぼ一定で、相当温位が最大となるため。(22字)
  - ③ 水蒸気フラックスの大きさが最大となる日時:18日9時 理由:風速と水蒸気量がともに最大となるため。(19字)
- (4)〔5点〕

多量の水蒸気を含む空気が寒冷前線に向かって流れ込み、上昇気流が強まるため。 (37字)

#### 問 4

(1)〔4点〕

強い暖湿気流が山にぶつかり上昇し、雨が強まる地域。(25字)

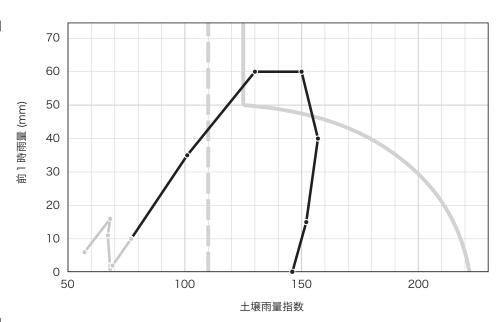
- (2)〔6点〕
  - ① 土砂災害
- ② 短時間に大雨が降った ③ 長期間大雨が続いた

- ④ 小さい
- ⑤ 低い

⑥ 左

- (3)〔6点〕
  - ① 130
- (2) 146

#### (4)〔6点〕



(5)〔4点〕

大雨警報: 10 時 00 分 土砂災害警戒情報: 10 時 00 分

### 平成 27 年度第 1 回 (第 44 回)

## 気象予報士試験 学科試験解答

#### 予報業務に関する一般知識 予報業務に関する専門知識

1001000	- 12 4 2	у /4/ 1. д.у (	~	1001000	- 12 4 2	9 13 1
問	1	<b>(5)</b>		問	1	2
問	2	3		問	2	<b>(5)</b>
問	3	2		問	3	<b>(5)</b>
問	4	4		問	4	3
問	5	4		問	5	2
問	6	2		問	6	3
問	7	4		問	7	4
問	8	5		問	8	4
問	9	1		問	9	<b>⑤</b>
問	10	1		問	10	4
問	11	1		問	11	1
問	12	2		問	12	3
問	13	5		問	13	<b>(5)</b>
問	14	5		問	14	2
問	15	3		問	15	1